

お知らせ

記者発表資料 | 平成29年3月29日

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

平成28年度 中国地方整備局入札監視委員会 第一部会 第4回定例会議の議事概要について

中国地方整備局入札監視委員会 第一部会は、第4回定例会議を平成29年3月13日（月）に開催しました。

会議では平成28年10月1日から平成28年12月31日までの間に発注した「工事」「建設コンサルタント業務等」「役務の提供等及び物品の製造等」の中から抽出した10件の事案について、入札・契約の過程並びに契約内容について審議がなされました。議事概要については別紙のとおりです。

<問い合わせ先>

中国地方整備局入札監視委員会事務局

（第一部会）082-221-9231（代表）

主任監査官	あかぎ まもる 赤木 護	（内線2114）
総務部 契約管理官	きのした かずたか 木野下 和孝	（内線2222）
企画部 技術開発調整官	なかがわ てつし 中川 哲志	（内線3120）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官	さかや まさゆき 坂屋 政之	（内線2117）
企画部 環境調整官	まつもと はるお 松本 治男	（内線3114）

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会）審議概要

開催日時及び場所	平成29年3月13日（月） 14時00分～17時00分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長 河合 研至（大学院教授） 委員 平野 実（大学教授） 委員 近森 秀高（大学院教授） 委員 福田 和恵（公認会計士）	
審議対象期間	平成28年10月1日 ～ 平成28年12月31日	
抽出案件	総件数 10件	（備考） 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 （WTO 対象外）	5件	
指名競争入札方式	1件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型競争入札方式	1件	
公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
随意契約	1件	
	意見・質問	説明・回答
委員からの意見・質問、 それに対する回答	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

抽出事案一覧表

【工事】

(一般競争入札方式: 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方
多伎朝山道路小田地区改良第16工事	一般土木工事	4	4	平成28年12月27日	大福工業(株)
道の駅琴の浦外整備工事	アスファルト舗装工事	6	6	平成28年12月16日	(株)井木組
鳥取西道路気高青谷トンネル舗装第2工事	セメント・コンクリート舗装工事	10	10	平成28年12月5日	フジタ道路(株)
高梁川修繕工事	維持修繕工事	9	9	平成28年12月28日	(株)大森工務店
宍道湖湖心水質観測用フロート設備外工事	機械設備工事	2	2	平成28年10月11日	ノダック(株)

(指名競争入札方式)

工事名	工事種別	指名業者数	入札者数	契約締結日	契約の相手方
研修棟便所・厨房改修工事	建築工事	84	2	平成28年12月19日	(株)滝本工務店

【建設コンサルタント業務等】

(簡易公募型競争入札方式)

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方
弥栄ダム緊急設備及び放流設備外補修設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	2	2	平成28年12月12日	(株)ニュージェック

(公募型プロポーザル方式)

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札者数	契約締結日	契約の相手方
島根県警察機動隊設計業務	建築関係建設コンサルタント業務	5	5	平成28年10月24日	(株)松田平田設計

(簡易公募型プロポーザル方式)

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方
土師ダム流入量予測システム構築業務	土木関係建設コンサルタント業務	7	6	平成28年10月25日	中電技術コンサルタント(株)

【役務の提供等及び物品の製造等】

(随意契約)

業務名	業務分類	契約締結日	契約の相手方
ポリ塩化ビフェニル廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理(広島国道事務所)	役務[その他]	平成28年11月15日	中間貯蔵・環境安全事業株式会社 北九州PCB処理事業所

意見・質問	説明、回答
1. 報告及び審議	
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等への対応状況 6) 再度入札における一位不動状況 7) 工事種別毎の低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況</p> <p>Q 1. 指名停止で逮捕を要件として措置したものと、起訴を要件として措置したものと両方あるが、起訴が必須要件ではないのか。また逮捕後に不起訴になった場合、指名停止はどうなるのか。</p>	<p>A 1. 贈賄等による指名停止では、逮捕又は起訴が要件となっており、どちらかの実事が確認されれば、指名停止措置を行う。逮捕により指名停止を行ったが、不起訴となった場合は、指名停止を取り消す場合もある。</p>
(2) 抽出事案審議	
<p>1) 多伎朝山道路小田地区改良第16工事</p> <p>Q 1. ICT土工とはどのようなものか。</p> <p>Q 2. 応札4者がいずれも調査基準価格に近い金額となっているが、積算しやすい工事ということか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 生産性の向上を目的に、ドローンによる起工測量などICT建設機械を全面的に活用した施工を行うものである。本年度より総合評価で加点を行う工事を発注し、ICT活用工事の推進を図っている。</p> <p>A 2. 本工事は主工種が盛土工であり、積算は複雑ではなく、単価・歩掛等の積算基準も公表されているため、各者とも調査基準価格に近い積算になったものと思われる。</p>
<p>2) 道の駅琴の浦外整備工事</p> <p>Q 1. 総合評価項目の「若手技術者等の雇用」における「若手技術者」と「若手」の違いは何か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 「若手技術者」は国土交通省が定める土木系学科を卒業した者であり、「若手」とは、事務系など土木系以外の学科を卒業した者である。</p>
<p>3) 鳥取西道路気高青谷トンネル舗装第2工事</p> <p>Q 1. 応札10者のうち7者が低入札とのことだが、何か考えられる理由はあるのか。</p>	<p>A 1. 本工事の積算は、割合の高い材料費の算出によって入札価格に差が出ると思われ、受注意欲の高い者が材料費を下げ、調査基準価格付近の金額で応札した結果と考えている。</p>

<p>Q 2. 前工事「道の駅琴の浦外整備工事」の参加要件が、鳥取県内に本店支店等の所在地があったのに対し、本工事では中国管内に本店支店等が所在することとなっているのはなぜか。</p> <p>Q 3. 本工事は一括審査方式とのことだが、他にどのような工事で採用しているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 2. 前工事は工事規模も小さく、一般的なアスファルト舗装工事であるが、本工事は、規模も大きく、コンクリート舗装という一般的でない工法を採用しているため、鳥取県内だけでは、同種工事の施工実績を有する業者が少数で、競争性が確保できないと判断したため、地域要件を広く設定したものである。</p> <p>A 3. 一括審査方式では、一つの技術提案で複数工事への参加が可能となり、受注者及び発注者双方の負担軽減を図ることができることから、トンネル工事や鋼橋工事など、近接地域で同時期に同種の工事を発注する場合などに採用している。</p>
<p>4) 高梁川修繕工事</p> <p>Q 1. 本工事における「伐木除根工」と「護岸補修工」ではどちらの割合が高いのか。また同一工事で発注したのはなぜか。</p> <p>Q 2. 業者の入札価格に差があるように思われるが伐木除根工における人件費等で差がついたということか。</p> <p>Q 3. 本工事は、施工実績の少ない者でも受注できるよう施工実績の配点ウェイトを小さくした「チャレンジ型」を採用しているとのことだが、採用した工事の効果について検証したデータはあるか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 予定価格の割合としては、6500万円のうち約6000万が伐木除根工で、護岸補修工は少額で単独での発注は難しいことから、併せて発注を行ったものである。</p> <p>A 2. 枝葉等の処分費が非公表単価であることから、各業者の運搬距離や運搬方法の積算によって、入札価格に差がついたのではないかとと思われる。</p> <p>A 3. 現時点で検証データは整理していないが、本工事でみると、通常の維持工事よりも参加者が増加し、新規参加者もあることから、一定の効果はあったものと考えている。</p>
<p>5) 宍道湖湖心水質観測用フロート設備外工事</p> <p>Q 1. 参加可能者数15者の根拠は何か。</p> <p>Q 2. 実際の入札参加者が2者と少ないのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本工事の参加要件として求めている同種工事の施工実績のうち、水質保全設備における実績業者をデータベースにより検索したところ、全国で15者という結果であった。</p> <p>A 2. 本工事は湖上で施工を行う特殊な工事であり、また水中作業、水質汚濁対策、冬期作業など施工条件が厳しかったため、参加を見送る業者が多かったのではないかと考えている。</p>
<p>6) 研修棟便所・厨房改修工事</p> <p>Q 1. 指名通知を84業者へ行ったにもかかわらず、入札参加が2者となった理由は何か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本工事は、既存施設の部分改修で施工が複雑であることから、研修所を利用しない時期での工事であることから、施工時期が限定され、また繁忙期でもあったため、技術者の確保が難しかったことなどが考えられる。</p>

<p>7) 弥栄ダム繫船設備及び放流設備外補修設計業務</p> <p>Q 1. 入札参加者が2者と少ない理由は何か。</p> <p>Q 2. 総合評価項目の「業務理解度」とは具体的にどのような評価を行っているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 従前から機械設備関係の設計業務は入札参加者が少ない傾向にあり、さらに本業務はダムゲートという特殊な設備の設計であったため、参加者が少なかったと考えている。</p> <p>A 2. 提出された実施方針が、設計の対象である設備構造の特殊性や求められている技術水準を十分理解した内容であれば、評価・加点を行っている。</p>
<p>8) 島根県警察機動隊設計業務</p> <p>Q 1. 県警の施設を国で設計するのはなぜか。</p> <p>Q 2. 技術提案の必要なプロポーザル方式で発注したのはなぜか。</p> <p>Q 3. 最終的に特定された者からの見積金額が予定価格を超過した場合はどうするのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 法律により警察機動隊に関する主施設については、警察庁の予算で整備することになっているため国で発注を行っている。</p> <p>A 2. 本業務のような新築設計では、複数の施設を一体的に計画し、機能面、設備面を連携させた高度な設計が必要であるため、プロポーザル方式で発注している。</p> <p>A 3. 予定価格超過であれば、再度見積徴収を行うこととなる。</p>
<p>9) 土師ダム流入量予測システム構築業務</p> <p>特に質疑なし</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	
<p>10) ポリ塩化ビフェニル廃棄物（特別管理産業廃棄物）処理（広島国道事務所）</p> <p>Q 1. 随意契約で契約相手方が特定されているにもかかわらず、WTO公示を行うのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. WTO協定により、随意契約でも契約の相手方を決定した際には、相手方の名称等を官報公示するよう定められている。</p>
<p>(3) 再苦情処理の報告 該当事案なし</p>	
<p>平成29年度 入札監視委員会</p> <p>総 会 平成29年6月26日（月） 13:30～ 広島合同庁舎</p> <p>第1回定例会議（第一部会） 平成29年6月26日（月） 14:00～ 中国地方整備局 建政部 3階会議室 抽出委員 近森委員</p>	